

海老名市立有馬中学校 学校運営協議会 議事録
(令和3年度 第2回)

- 1 日時 令和3年10月18日(月) 10:00～12:20
- 2 場所 海老名市立有馬中学校 グラウンド、図書室
- 3 出席委員 木村和雄委員長、橋本瑞貴副委員長、塩井俊勝委員、芝善孝委員
森下賢人委員、三田英樹委員、大島千佳委員、宮台功委員
河毛利之委員、久保谷由美子委員、越智雄平委員

4 会議内容(司会:越智教諭)

(1) 本校のようす(グラウンド)

体育祭予行練習観覧

(2) 体育祭予行練習について(図書室)

森下委員: 競技や雰囲気など良いものを見せていただいた。

予行練習で応援合戦がないのが残念であった。

橋本副委員長: コロナ感染対策が徹底されていた。

短縮されているが、素晴らしい活動だった。

子供たちが良い表情で活動していたのが印象的だった。

塩井委員: 毎年楽しみにしている。子供達が一生懸命活動していて良かった。

木村委員長: コロナの制約で大変な中良くやっていた。

子供達には、「なぜ体育祭をやっているのか」という根底にあるものを
しっかり理解させることが大切である。

また、教師のねらいとして体育祭を通して何を身につけさせたいかとい
うことを念頭に置くことが大事である。

今日の予行を見ていると本番が期待できると感じた。

宮台委員: 環境が良く整備されており、先生方が尽力されていることが伝わった。

生徒同士が協力し合い、話を聞く姿勢も整然としていた。

本番が大いに期待できる。

大島委員: 体育祭は子供のこれからの人生に大きく役立つ。

短縮されているが素晴らしい活動であった。全力で本番を終えてほしい。

芝委員: 有馬っ子らしい活動であった。

安全面で先生方が気を使っているのが感じられる。

ライン引きも子供達でおこなうとより主体的な取り組みにつながると思う。

三田委員: 有中の子供は凄く元気が良い。

子供の元気なあいさつを受けて安心する。

(3) 議事「令和4年度学校教育目標承認」

河毛校長：令和4年度学校教育目標について説明。

木村委員長：河毛校長の話「令和4年度学校教育目標について」意見ありますか。

宮台委員：有中らしさを根付かせていくことがすばらしい

特に「自ら学ぶ、自ら働く、ともに磨く」という言葉が

知徳体に繋がっていて、有馬中に合致している。

具体的に目標が実践されていくと良いと感じる。

コロナ禍で特に不登校の生徒に対して、私たちができることを考えていかなければならない。

木村委員長：地域の職場(農家など)とつながり社会体験ができるようになると良い。

そのため、学校と地域がより深く関わっていけると良い。

大島委員：学校教育目標には先生と保護者の関係づくりも大切だと感じる。

家庭と学校の相互理解を大切にできるとより良いと思う。

塩井委員：学校教育目標において、前回校長先生が説明されていた有中しぐさが子供達に伝わっている。

木村委員長：有馬中の伝統は他の地域にはない素晴らしい伝統であると思う。

「令和4年度学校教育目標承認」

(4) その他

河毛校長：2学期の始業式で全校生徒に伝えたスライドによる説明
(学校教育目標に沿って生徒の意見をまとめたもの)

越智教諭：次回の学校運営協議会の日程確認。

令和4年2月8日(火) 10:00～